

… 雨でも休まず；第87、88、89回 …

「若柳嵐山の森・小原本陣の森」から

- ・活動1：若柳嵐山の森：12月7日(第一土曜日)、参加費300円、弁当持参
  - ・森林整備に注力する。また、活動内容の充実について相談する。
- ・活動2：小原本陣の森：12月8日(第二土曜日) 参加費300円、弁当持参
  - ・9時15分駅前集合。車分乗で行く。本格的な間伐作業。
  - 我と思わんもの男女、奮って参加されよ。
- ・活動3：若柳嵐山の森：11月17日(第三土曜日) 参加費500円
  - ・飯のみ持参、飯炊き班が何か旨いものを食わせてくれるらしい。
  - ・活動3、のみ申込必要：TEL&FAX 03-3411-1636(石村)
- ・集 合：相模湖駅前9時15分。8時43分、9時02分のJR高尾発に乗るべし。
- ・服 装；汚れても良い格好・着替え 傘 足元が滑らない履物
- ・持参品；軍手、自分の食器、万一の怪我に備えて…保険証写し
  - そして、作業を楽しむ“ゆとり”と怪我をしない「心構え」

国際 F S C 認証に向けて…

WWF（世界自然保護基金）が支援する森林と人との共生・調和を図る国際的 N G O / F S C（森林管理協議会：本部/メキシコ：オアハカ市）の進める認証を目指して取得5ヶ年計画を昨年5月に決定したが、先が見え始めたので検討・推進部会を発足したい。F S C のガイドラインは、10の原則からなるが我々には、先住民の権利など不要な項目もあり8班で構成する。参加希望者は、名乗り挙げられよ。賛助会員の参加も歓迎。

「5年も掛からないだろう。3年？」とのカリスマ髭園のご宣託であるから、そんな気分にもなっている。市民団体による認証の有無をWWF ジャパンに調べてもらったが見つからない由。他に取り組んでいる市民団体があるかも知れないが、世界初の取得になったら愉快じゃないか。取得は手段であって目的ではないにしても、こんな遊び心・ゆとりが活動を楽しく活発にして且つ、有意義にしてくれる。

はや、「新年会」の準備に入っている。凄いスピードで事が展開している。

◎横浜の家を出るとき気温9度、強い西風が吹き富士山がクッキリ見える。爽やかな青空のもと森には20名が集った。酒井少年のリードで体をほぐし各グループは持ち場に付いた。

- ・作業班は、来週17日定例活動日“花咲く木／サルスベリ植樹”の準備。
- ・炭焼き班：天井を2回落としたが今回の仮焼きは成功。細かい亀裂は、緩く溶いた粘土で補修。
- ・造園班：梅の木の選定作業。



・錦秋の“若柳・嵐山の森”に68人の仲間が集まった。

- ・「里山の倉／設置班」：基礎にする焼いた杭を打ち込み午後は、測量機などを駆使して、杭の頭を揃えたが水平に切るのは難しく次回に微調整する事とする。酒井少年も杭打ち挑戦。少年・午後は、黙々と薪割り。終わる頃には、スツギリと様になっていた。1年もすれば“森の達人”間違いなし。越谷の中野さんが寄贈してくれたこの上等のスーパーハウス(観覧小屋)の有効活用に設置班は立ち上げがこれまた班員はの物凄さ。丸太を森から引き出し指定の長さに切り、基礎となる杭には焼きを入れる。見事なチームワークで事が進んで行く。

■「小原本陣の森活動の間伐作業」は、急遽変更…「世田谷／森を守る会」の船橋小の改築に伴うツツジの救出作戦に協力して“若柳嵐山の森”に移植。今日の作業は、高齢者？9人の集まりだが目の輝きは20代の青年たち。作業は、世田谷から運搬の「ドウダンつつじ・さつき」と植え込み班と来週／定例活動日に西君が持ち込む「サルスベリ200本」の受入れ準備班の2班にわかれて取り組む事にした。

- ・ツツジは、森の入り口看板の回りに植える事とし地こしらえから始め、枯れ松と桜の枝の伐採を行い穴堀に石が多く以外と手間を取ったが、水をやりハサミで刈り込み、格好のついた“森の入り口”は嬉しく・楽しく・美しい。午後の作業中、ハイカーがひっきりなしに相模湖駅までの道を聞きに来る。道標が見当たらないので不安なのだろう。我々の事業として間伐材利用証明を入れた道標を作り近隣のハイキングコースに設置する…、道標不備のコースがけっこう有り、このような活動も間接的には面白いかもしれない。
- ・この日、甲斐東部材の和智さんが間伐材活用のサンプルベンチを持参して参加してくれた。石村統括の説明によるとこのベンチの趣旨は「森林～製材～建築～施主」を直結する森林活性化経路を探索するツール最初の一步。この考え方にCOC (Chain Of Custady : 流通の鎖) がFSCとの車の両輪という。夢は大きいほど宜しい。

- ・終日快晴、皆良い汗をかいた… 結果、帰路「カドヤ会議」のビールが旨い。

□「花咲く樹の町・養蜂プロジェクト～花咲く樹のため、笹刈り大会」…本日のイベントに目標200人は集まらずとも「200人の元気」は集まって68人。

- ・ 40人ばかりが竹鎌で取り掛かり、さすが人数は凄いもの、たちまち視界が開けてゆく。隠れていた紅葉の樹が姿を現す。壮観。世田谷から参加の若い人たちは、リースになるツルを大量に収穫していた。こういう副産物も、森にはある。ともあれ、目標の8割位はできたかな。



・ 来春の植樹際の準備 … 笹刈りに40人が入った。

- さて、アズマササは、再生力が強いので数回の刈り取りが必要。荒れた山を取り戻すには根気の勝負。
- ・ 笹刈りの一方でお花畑班は、200本の百日紅(サルベリ)の植樹。林道本道に沿って、賑やかにサルベリが並んだ。この活動の一環で上の農地1500坪にもナタネを蒔いた。来年は一層、華やか。
- ・ 白炭の窯は、先月の火入れも完了。火入れをされた内壁は、ホンノリ紅色で品がある。初窯近し。
- ・ 「里山の倉づくり」のために間伐した材は、8枚の板が挽かれた。測量機を使ってミリ単位の小屋づくりもはや、棟上げの段階まで進む。手作りの焼き杭が、見事な高床式の基礎となっている。お昼には、川島チェーンソープロのご指導で歯研ぎの講習会に仲間が集まる。
- ・ 生態系は、土中の微生物調査。ピンセットと虫眼鏡で根気のいる作業を強いられる。これは、土の栄養度と生態系の範疇を調べるため。
- ・ 今回もまた、この大人数の胃袋を、暖かい大鍋が満たしてくれた。「来月はクリスマス月、何にしようかな」と頼もしい鍋奉行の頭は既に、そちらに向かっているようです。沢山の差し入れありがとうございます。

## ● 人と人の善意を結ぶ地域通貨(通貨と言うがお金の事ではない)について

今年2月、この考え方をわが国にもたらしたNHKの河村厚徳さんに町に来て頂いて論議した。町では、鈴木克枝さんを中心に地元商工会と一緒に取組を進めようとしている。我々の森林仲間に「桂川・相模川流域協議会」の核となる河西さん、牧島さんに話したら「それなら流域通貨と言うのはどう？」と言うアイデアが飛び出した。相模川の水源地/忍野百海～相模湾まで「桂川・相模川流域」に流通する“流域通貨”が生まれると楽しくて面白い仕組みができると思うが、森林仲間たちみんな、例えば“Foest/River:略称/FR”なんて単位は、どうか？

## ◇ 東海自然遊歩道/危険なゴロタ石の下山道… 城山～千木良 … の改修工事が終了。

怪我人が続出し津久井救急隊が大忙しの「城山～千木良/下山道」を補修したいと一昨年の12月から補修のための募金運動を始めた。募金・署名には、城山茶屋・千木良茶屋・駅前カドヤ他、沢山の人の協力を得たが、県の自然公園課の安西さん(課長)が大変なご理解を下さって予算を付けてくれた。

その結果、安全で楽しい・美しい・素晴らしい下山道が完成した。募金は、駅前JAに募金者名など明細を揃えて預けてあるがこれを有効活用したいと署名・募金の皆さんに改修完成の報告とお預かりしていた募金の使用方法を報告・相談をしている。アイデアとして、城山茶屋域内に「美しい相模湖自然公園を巡回する案内板設置」が出ている。安西さんには近々、関係者と連れ立って感謝の挨拶訪問の予定。

◆ かながわ発 水源環境 シンポジウム

11月16日～17日、関内の労働プラザ会館で県主催によるシンポに市民団体側のパネラー・コーディネーターとして出席した。われわれの主張は、森林(産)は、お金を入れるだけで解決する程、単純では無い。対策として全ての人々の協働が必要、いま県民が立ち上がる時、NPOがコーディネートする力を持たねばならない。会場で陳岡企画部長から伊藤副知事の紹介を受けて「相模湖の活動に期待している」と激励を受けた。また、担当課長からも「一緒に行動したいので相談に乗って欲しい」の要請を受けた。われわれの活動もここまで来た。森林仲間達みんな、知恵と力を貸して欲しい。

NPO 緑のダム北相模：理事会 / 11月2日開催

法人化して初めての理事会を開催して以下の事を報告・討議してもらった。

- 1) 森林作業進捗状況
- 2) 期間会計報告
- 3) 会員入会状況
- 4) 対外折衝(国・県・町・その他) 状況
- 5) 定款の一部改正
- 6) 県との協働事業の取組
- 7) 国際FSC認証取得/研究・推進部会の立ち上げ
- 8) 収益事業のお知恵拝借。全てを了解してもらって、いろいろの白熱の討議。その内容は追々、紹介するが会を維持する収益事業のアイデアも飛び出して将来に希望が持てる役員会となった。鈴木重彦氏初め地元の5人の重役さん方役員の方々の会への活動を全力で支援して下さるお気持ちがヒシヒシと伝わって森林仲間：5人の役員は、満たされて帰路に付いた。

月次運営会議：11月15日

遠路/城山町の桑原良有さんが参加し会員になってくれて一緒に行動したいと来てくれた。また、いろんな事を提案してくれたが、全てわれわれが取り組んでいる活動と一致するもので「援軍、現る」の印象。沢山のアイデア噴出の結果、以下の2つに集約した。

- 1) 国際FSC認証取得を目指してチームを分けてたち上げる。そのために12月第一活動日の終了後準備チームを作り、来年1月早々には、本格的な作業に入れるようにする。
- 2) 認証取得資金の調達も課題 … 全員で力を合わせる事を合意して行動に移す事にした。

- 1) 12月7日(第1土曜)：若柳嵐山の森  
9時15分駅前集合、参加費300円  
\*土曜日になっている・・・注意
- 2) 12月8日(第2土曜)：小原本陣の森  
9時15分駅前集合、参加費300円
- 3) 12月15日(第3土曜)、若柳嵐山の森  
本年最後の活動日、奮って参加されたし。  
\* 参加費500円。今月は、臨時活動なし。

モットー 急がず、休まず、楽しく、無理せず  
ボチボチと…、そして …沢山のご意見下さい。  
名称 NPO：緑のダム北相模/森林部会  
事務局 154-0023  
東京都 世田谷区 若林3-35-9  
TEL&FAX 03-3411-1636(自宅)  
TEL 03-3411-0602(事務所)  
お關係 石村黄仁 (自然科学研究所 事務局)

HP ; [http://www13.u-page.so-net.ne.jp/rk9/moritomo/so-net\(u-page\)](http://www13.u-page.so-net.ne.jp/rk9/moritomo/so-net(u-page))

ご支援自然保護団体：WWF・日興インベスターズ基金、セブン・イレブン：みどりの基金、